





審査結果報告書

平成 26 年 1 月 23 日

主 査 氏 名 小泉 和郎 

副 査 氏 名 生地 新 

副 査 氏 名 小林 弘彦 

副 査 氏 名 七里 真義 

1. 申請者氏名 : 遠藤 真理
2. 論文テーマ : ニコチン性アセチルコリン受容体活性化による抗炎症作用を介した大建中湯の術後腸管麻痺改善効果

3. 論文審査結果 :

本研究では大建中湯(DKT)の腸管麻痺(POI)に対する治療効果の作用機序として、従来の消化管運動改善に加えて抗炎症作用が関与することを証明するため POI モデルマウスを用いて DKT の POI 抑制作用の機序を明らかにすることを目的とした。

その結果、DKT は消化管運動機能亢進作用に加えて、抗炎症作用を示すことで POI 治療効果を示すことが初めて明らかとなった。その作用機序の一部として 5-HT₃R と、または、5-HT₄R 刺激によりコリン作動性筋層間神経叢からの Ach 分泌が促進し、この Ach が炎症により活性化したマクロファージ細胞膜上の $\alpha 7nAChR$ を活性化し抗炎症作用を発揮する可能性が示唆された。

本研究および論文は医学博士学位申請に十分に値するものと判断した。